

9月のリサイクル回収

10日 (第2水曜日)

24日 (第4水曜日)

ビン・缶は水でゆすいで
キャップははずして

ゆり北

第158号 (15期第4号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

区・防災訓練

八月三十一日(日)開催

九月一日は関東大震災がおこった日(大正十二年・今から七十三年前)です。死者九万九千余名、行方不明四万三千余名、焼失、倒壊家屋五十七万六千余戸となる大災害でした。この日を「防災の日」として全国的に防災訓練が行なわれてきました。

しかし、平日の訓練だと参加者が少なくなる傾向が見られる様になり、本年度からは、直近の日曜日に行なうことになり、八月三十一日(日)に十七地区で一斉に行なわれます。

下赤塚地区では、区立下赤塚小学校(赤塚六丁目)で、救出救助訓練、応急救護訓練、初期消火訓練などが行なわれます。また、団地から会場までは、避難誘導訓練として行なわれます。

参加者には板橋区から防災用品が参加賞として支給されます。

ゆりの木北団地では、自治会と管理組合で協力して取り組みます。九十名が参加目標です。(世帯の一割)集合は、八月三十一日(日)午前九時四十五分

ゆりの木保育園前

団地独自の訓練は十月二十六日(日)に実施する予定です。詳しくは次号でお知らせいたします。

開発には

地元と協議を

十四号棟に隣接する広さ約一万㎡の土地は、区の長期計画による中学校建設予定地として公団が確保しています。

自治会では発足当時から対策委員会を設け、数々の中学校建設要請活動をしてきました。しかし、いまひとつ盛り上がり欠け、区側の重い腰を上げることが出来ませんでした。

昨年八月、十五年手つかずのまま放置されている当該地の利用の有無について公団が区に対して照会をしました。その回答により「当初の見込みほどに児童・生徒数が増加せず、今後も増加が見込めないの、中学校を建設する必要性が乏しい」と述べています。

そして「公団が住宅事業用地等として活用する際には、地元住民及び区と充分な協議のうえ、地元の発展に繋がる開発を」と結んでいます。

予定地には、みんなが幸せになり、地元の発展にもつながる施設(いわゆる多目的ホールや、高齢社会に対応できるデイサービス・リハビリセンターなど)があるといいと思います。

対策委員会では、よりよい施設の建設に向けて、着々と資料集めに奔走しています。

これからも住民の皆様と手を携えて活動していきたいと思えます。

中学校予定地対策委員会

通り魔事件頻発

宅急便を装った変質者も!

今年はじめ頃から、東京都・埼玉県

境の市区で女性の頭・顔を石・棒の様なもので殴る通り魔事件が続発しています。七月に入ってから、七月十九日練馬区北町、二十五日成増、三十日常盤台、八月一日練馬区上石神井、二日高島平、五日赤塚新町とこの団地周辺でも頻発しています。

時間帯は早朝一件、昼間一件、夕刻三件、深夜一件となっています。後方から自転車で追い越さず、殴りかかるという手口はほぼ同様です。前・後を注意して襲われないよう用心して下さい。不審な人を見かけたり、事件を目撃された方は、一一〇番か最寄りの交番に通報願います。

この事件では、八月九日別件で逮捕された男が容疑者として報道されていますが、模倣犯がいる可能性もあり、引き続き警戒が必要と思われる

分譲

自転車置場が 明るくなります

住宅管理組合(分譲)では、組合員からの要望にこたえて、屋外灯の改修を行なうことになりました。

主な工事は、足元灯を高くする(十号棟、五号棟等)、自転車置場に電灯を設置することです。

通路灯の多い賃貸棟に比べて、暗くて不安、自転車の出し入れが不便、出会いがしらの衝突などがなくなると思われます。八月中には工事は完了する予定です。

また、団地内・外でも痴漢の出没があります。宅急便を装った変質者もいる様です。「痴漢は犯罪」です。黙っていると被害は拡大するだけです。ご相談は自治会役員でもお受けします。秘密は守りますから、ご安心下さい。



三号棟・サブステーションにはこんな落書きが

ここがポイント防災マニュアル③ 防災用・器材・備品

自治会では災害時に使用する器材・備品を役割分担表に掲げています。

このなかには板橋区から支給された発電機、リヤカー、担架、救助工具セット、避難ロープなどがあります。

自治会で日常活動に使用しているハンドマイク、懐中電灯・天幕、ポリタンク、トラロープ、防水シートなども非常時には有効に利用できます。

また、野外活動に貸出ししているテント、炊事用具、大鍋、飯盒、半切りドラム缶、LPボンベ、ガスコン

ロなどは避難所運営で炊き出しにも使用できます。

自治会としては、防災のためだけに備えるのではなく、日常的な活動にも使用できることを目安に備品の購入を進めています。

会員の皆さんにも、不用品となったもので防災用品などに転用することができる品物の提供をお願いいたします。特に自動車のジャッキ類をお待ちしています。救出工具として有効に活用できます。

今年もやります

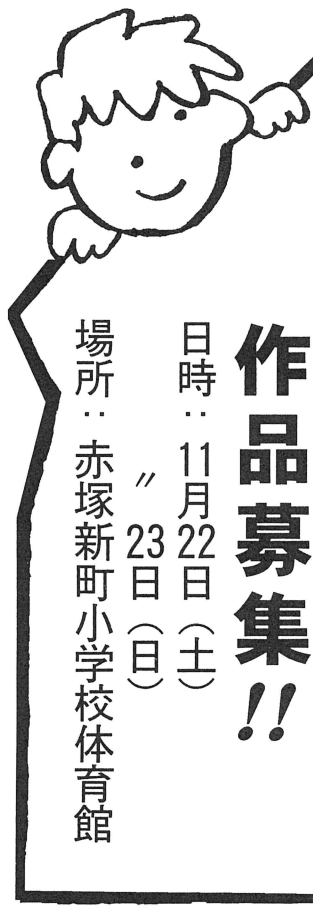
ゆり北文化展

作品募集!!

日時: 11月22日(土)

// 23日(日)

場所: 赤塚新町小学校体育館



ゆがむ動物愛護

団地の植込みで猫にエサをやっている方をしばしば見かけます。付近には公団の「ここで猫にエサをやるなで下さい」との掲示もしてありますが堂々としたものです。

雨の日や冬場には、猫用のダンボールハウスや雨傘もあります。

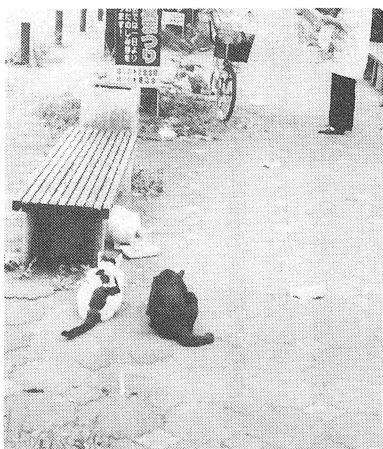
野良猫による被害は、開いていたドアから侵入され、寝かしていた赤ちゃんが引掻かれそうになった。汚臭がするなどありますが、犬と違って被害が小さいことから、眉をひそめても大きな声にならない様です。注意したら野良猫だって「生きる権利がある」とエサをあげつつけている方から激しい反論もありました。

団地では犬・猫は飼ってはいけないことになっていますが、この「掟」はあってなきも同然にはなってきたいます。多くのご家庭で、犬・猫の飼育がされているのは事実です。こう

したことを踏まえて、建築協定（分譲）や利用条件（賃貸）の再検討も必要でしょう。その前提は、飼う人のモラルにあります。現状では、自治会として飼育容認を提起する考えはありません。

糞・尿の始末、ベランダでの毛づくろいの禁止、エレベーターには乗せない。屋外の散歩は首輪をつけるなどのルールが考えられます。飼っている方が自分で提起して、賛同を得る様な働きかけをすべきだと考えます。

野良猫の場合は個人による管理が行なわれているわけではなく、無責任な飼育になっていきます。エサをやってくる方と聞かれています。そのために、野良猫は増える一方です。「動物愛護」とは聞こえが良いのですが、無責任なエサやりこそ動物愛護に反するのではないのでしょうか。



猫さんの幸せ

ゆり北では、猫の姿をすいぶん見かけます。一時少なくなったと思ったら、最近また増えたようです。けっこう毛並みの良いのが堂々と歩いています。まるまると太っています。そうあの方達は決してノラ猫さんではないのです。ついこの間まで飼

い猫さんだったりして……。
ノラとも言われず、飼われているわけでもない。けれど毎日、優しい(?)人達が、食べ物を運んでくれるから、雨が降ったって怖くない。傘をさしかけて食べさせてくれるんだ。だからゴミ箱あさりなんか忘れてしまいましたヨ。

ただ、暖かいお家の中に入れてもらえないだけなんです。私達って、ホントに幸せなんじゃないか。

団地では飼えないと言われていた生き物。私も前の団地にいた時は飼っていませんでした。お風呂場の外で私の出てくるのを待っていたり、私の腕を枕にしてお腹を見せて寝るようなどこか人間っぽい、可愛い奴でしたね。ある夜、何気なしに玄関のドアから外に出た時、駆け出して行って迷猫になってしまいました。数日経って知らせてくれる人がいて、鳴き声をたよりに捜してあげましたが、ガリガリに痩せて見るも哀れ、凶暴性も出てきていました。飼いは、ゴミ箱あさりもできず、ノラにもなれず、あと数日もすれば死んでいたでしょう。

猫にとって、外に自由に出入りできない住まいで飼われることは、不幸なことではないだろうか。拘束を嫌う猫の習性を考えると、地面に近い所で飼うのが一番いいと思ったこと。本当は猫好き

ゆりの木会会長 高槻 茂さん やすらかに

ゆりの木会（老人会）会長の高槻茂さんが亡くなりました。享年八十四才でした。
十五年前の当初入居のおひとりで、同じ十号棟の水原さんとともに老人会の結成に参加され、七年前から会長を引き受けて、黙々と任務を果たしてこられました。

ゲートボール、ダンスとレクリエーション活動にも熱心に参加され、板老連の部会の役員もされていたので多忙であったと聞いております。高槻さんのファンは多く、ゆりの木会だけでなく近隣の町会の仲間からも慕われておりました。

自治会の役員も、老人会の新年会や総会などにも呼ばれられたり、長寿を祝うつどいなどで楽しいひとときを重ねてまいりました。

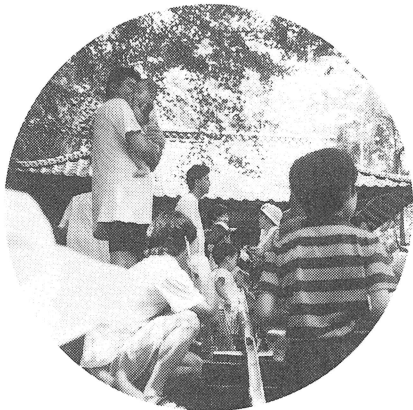
特にカラオケは大好きで、機械を自分で購入され、譜面台も手作りで作られました。デュエット曲が大好きでした。普段は真面目でお固いという雰囲気ですが、どうしてどうして楽しく老後を楽しんでおられました。文化展でも、夏まつりでも真剣に取り組み、ちょこっとした仕掛けを考えて子供たちを喜ばせておりました。

昨年末から体調を崩されておりましたが、遂にかえらぬ人となりました。御冥福をお祈り申し上げます。

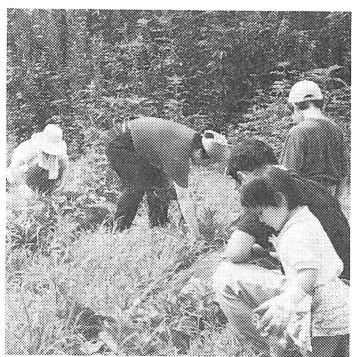
自治会長・吉柳 合掌

小野上村交流会

(8月2日、3日)



長い竹樋で、早くこいソーメン



いもが見えなかった畑も 一時間で見違えるように



(竹籠づくり) 巧みな手さばきに見とれる



夕食は温泉公園でバーベキュー

次回は、10月19日(日)
第4回は、11月9日(日)
です。